

県内経済の動き

概況

〔1月～3月の動き〕

緩やかな持ち直しの動きが続く

鉱工業生産指数（1月）は2カ月連続で前月比低下。通関輸出額（2月 細島港）は、8カ月ぶりに前年比減少した。百貨店・スーパー販売額（2月 全店ベース）は3カ月連続で前年比減少し、「軽」を含む乗用車の販売台数（3月）は3カ月連続で前年比増加した。新設住宅着工戸数（2月）は、2カ月ぶりに前年比減少し、公共工事（2月 保証対象請負総額）は3カ月連続で前年を下回った。有効求人倍率（2月：1.49倍）は前月比▲0.04ポイント低下した。3月の企業倒産は、前月比1件増加し、負債総額も同1億72百万円増加した。

県内経済は、一部の指標に弱い動きがみられるものの、総じて緩やかな持ち直しの動きが続いている。